

目指せ 頂点・全県

いよいよ出陣だ

根堀台

第11号



由利中学校 学校便り
平成三十年六月二十二日(金)

発行者 校長

中学校総合体育大会由利本荘大会が明日二十三日～二十四日に開催されます。各部の対戦日程は、先日、学校後援会報で配布した通りです。本日壮行会が行われましたが、緊張感がひしひしと伝わってきます。

三年生にとつては、後がない試合が続きます。頑張ればいいという、今までの大会とは全く違います。諦めたら終わってしまいます。必ず中学校の部活動は終わります。しかし、終わり方が大切です。全ての競技で全県大会出場をかなえてほしいものです。

校歌の二番「鳥海の山の崇高さを 高き理想の象徴とし」とあるように、校歌練習や応援練習で、全身の力を振り絞って歌う生徒の眼前には、高くそびえる鳥海山があります。鳥海山は、選手心の



支えになるはずですが、苦境に立つても決して負けないメンタルで他を圧倒してもらいたいです。



校長の独り言

いよいよ総体です。この時期になると「俺たちはまだちっぼけで、手のひらの中には、この手のひらの中には何も無いけど、雨に打たれ、風に吹かれでも諦めないから、でも諦めたくないから、きつといつか何かを掴むんだ。」



：」ではじまるファンモンの「ちっぼけな勇氣」という曲を思い出します。十一年ほど前のAABの高校野球のテーマソングで、毎日のようにテレビで流れていました。

私は、当時矢島中学校の教頭として勤務していました。矢島中・高連携校になる前の年でした。矢島中学校野球部は、その年と、翌年二年連続全県大会準優勝で東北大会に出場しています。

丁度、私の次男が西目中の野球部に入っていて、私が親の会の会長をしていました。なにぶん三年生の部員が六名と少ない中で親の会の運営は大変でした。土曜日は、ほぼ毎週西目中学校のグラウンドに足を運び、練習試合等の段取りを行っていました。戦績表が残っていたのでびっくりですが、練習試合と公式戦で三七戦三勝五分けという散々な結果です。総体前までの練習試合で勝てたのはたった二勝です。総体の組み合わせ

せが決まり、西目中の一回戦は由利中、勝てば矢島中でした。もちろん矢島中の教頭としては、矢島中を応援しなければなりません。その前に、強豪由利中に勝てるわけがないとも思っていました。ところが、総体本番で西目中が由利中に二対一で勝つてしまったんです。そうすると相手は、矢島中です。もちろん矢島中を応援しなければなりません。私が、私は西目中親の会会下になければならないこ

とは覚悟していました。勝利で喜んでいる息子に、その事は伝えました。

試合当日の朝、息子に頑張るように伝えて学校に向かいました。なんとも言えない心の重さでした。教師ではあります、私も一人の親です。神妙な面持ちでした。そんな中、矢島中の校長先生が、「西目中の応援に行つて下さい」と言ってくれました。とてもありがたかったので「敵を応援団には入れられません」とおっしゃいま

した。心の底から感謝の気持ちで一杯になりました。私は、結局バックスタンドの真ん中にあることにしました。試合結果は四対〇で矢島の勝利でした。

今、自分の子どもたちが決戦に向かおうとしています。親はそのとき何を感じているのでしょうか？子どもたちは、そのちっばやな手で、何かを掴もうと懸命に頑張ろうとしています。やっぱり親が最大の応援団長なんです。私は腹の底から由利中の各部を応援します。

7月の主な行事

日	曜	行事
2	月	PTA文化部会
4	水	防犯集会
5	木	PTA授業参観 高校説明会1, 2年PTCR
6	金	木曜授業
9	月	2.3年三者面談開始
12	木	授業研究会
13	金	県総体・吹奏楽壮行会
14	土	県総体(～16日) 吹奏楽コンクール中央地区大会
15	日	
18	水	民生児童委員と情報交換会
19	木	2年中学生と企業のふれあい事業(日新館)
24	火	夏休み前集会 駅伝部壮行会
25	水	夏季休業(～8/23)
26	木	交通安全市民大会